

茨陵会

茨木工業・工科高校
同窓会
第5号
発行：春日5丁目6-41
電話：072-623-1331



茨陵会会長
小池 隆彦

本校卒業生の皆様には、ご健勝で、各方面にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃は同窓会の活動に対して、多大なご支援を承りありがとうございます。心より御礼申し上げます。

昨年末から、百年に一度あるかないかの世界同時不況に陥り、大変な時代となっております。米国の巨大金融機関の破綻、自動車ビツク3のシヨ



校長
長谷川 悟

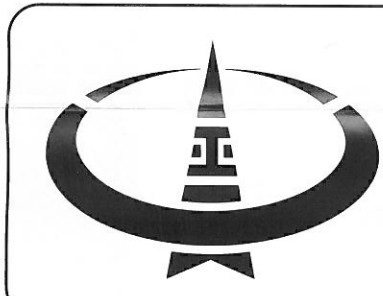
着任挨拶

茨陵会の会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。校長の長谷川悟（はせがわ さとる）と申します。

本校には平成八年に社会科の教師として赴任し、今年で勤務十四年目を迎えます。この間三十六期生では機械工学科の担任として、また、二十九期生では学年主任としてもに学んだほか、社会科の「現代社会」や「日本史」の授業で一緒にした会員の方も多数おられると思います。平成十六年からの五年間は定時制に勤務していましたが、再び

ツクと想像以上の事態が急速に起こっており、私たち工業に携わるモノ作りの世界にも、大きな影響が懸念されています。しかし、モノ作り日本は必ず勝ち残っていくと思えます。なぜなら、私は昨年と今年の茨木工科高校の卒業式に出席しました。その時、卒業生が元氣よく校長先生より皆勤賞・資格取得表彰・卒業証書を受け取っていました。皆勤賞を受け取ったまじめな生徒が多いことに驚きましたし、また入学してから資格を取得した学生が多いことにも大変感心しました。これはまさに全日制の校長として、この四月一日に着任いたしましたので、今後ともよろしくお願ひいたします。

さて茨木工科高校も開校五周年を迎え、工業高校時代の伝統を継承・発展させながら、工科高校の理念である「専門分野の深化」と「高等教育機関への接続」を目標に、教職員一同生徒の指導にあたっております。今後も、「入学してよかった」、「卒業してよかった」と充実感を体感できる学校をめざし、生徒が学習内容を確実に身につけることができるよう、指導方法や指導体制を工夫・改善し、個々の生徒にあわせた教育を家庭、地域と連携しながら進めてまいります。引き続きご支援のほどお願ひいたします。



もうすぐ創立50周年 (2012(平成24)年)

平成21年度入学生は工業から数えて47期生(工科高校5期生)

近況報告をメールしてください

創立五〇周年に向けて、卒業生の皆様方の近況を教えてくださいたいと思います。お一人50字程度で、下記の近況報告用メールアドレスまで送信してください。卒業生の皆様から送っていただいた近況報告は次回の新聞に掲載させていただきます。ホームページでご紹介したいと考えています。色々理事会も忙しくしておりますので、時間的に無理があるかもしれませんが、皆様がご報告された報告を他の卒業生の方々に知らせできれば、同窓会の活性化にもつながると考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



しかしながら、送っていただいた全ての文書を掲載できるわけではありませんので、あらかじめご了承いただきませう。併せてお願い申し上げます。

なお、投稿に際しましては、卒業期または何年卒、卒業学科、お名前を明記してください。明記されていないものは削除させていただきます。

例 ■ 1期生 M科 茨工 太郎
3年前に茨木の目垣に機械研磨の会社を興して頑張っています。会社名は「株式会社」です。

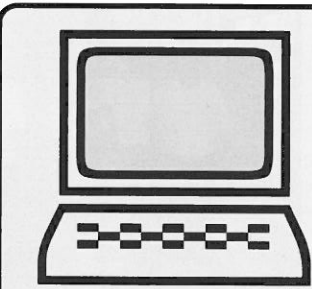
大阪府立茨木工業高校 (1~42期) 卒業生総数

機械工学科	6,393名
電子工業科	4,175名
工業化学科	2,004名
環境化学科	507名
計	13,079名

大阪府立茨木工科高校 (1~2期) 卒業生総数

機械系	219名
電気系	128名
環境化学システム系	116名
計	463名

総卒業生数 13,542名



茨陵会ホームページURL
<http://www.siryokai.com>
近況報告用メールアドレス
ibako@shiryokai.com

活躍する各系の様子を紹介します。

環境化学システム系のとりくみ

つけた成果が本功績につながったものです。
環境化学システム系（環境化学科）からの全国大会出場
は、鈴木香葉子さん（環境化学科41期）、松井洋平君（環境化学科42期）に続き3人目です。ついに優勝を手に入れました。

全国大会に出場して 瀧田大樹

化学分析部門の大阪代表で優勝することが出来てうれしかったのですが、何よりも驚きのほうが強かったです。こんなことを言うと他の出場者には失礼ですが私は始め、近畿大会に出ることすらためらってしまいました。山本郁夫先生に勧められて、校内選考を行い、私を含む三人が近畿大会に進みました。結果は四位でしたが、開催地選抜として大阪代表になりました。

結果が出ず、本番うまくいくのか心配でした。
前日の顔合わせで周りの参加者を見てみると、手強そうな（特に関東代表）人ばかりで益々自信をなくしました。本番当日、練習成果をほとんど出し切ることができましたが、残り時間三分弱で終わりが、残りハラハラさせました。結果、優勝することができたのですが、名前を呼ばれたときはまさか自分とは思わず、放心状態でした。紆余曲折ありましたが、とてもいい経験が出来て「何事も挑戦してみないとわからない」ということを改めて感じさせられました。

環境化学システム系 全国優勝 ～文部科学大臣賞受賞～

2008年度 第8回 高校生ものづくりコンテスト全国大会化学分析部門
優勝者 工科高校3期生 瀧田大樹君

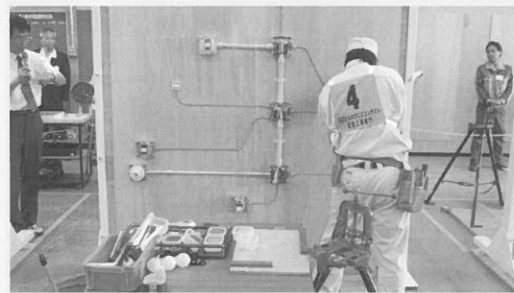
2008年11月3日、第8回高校生ものづくりコンテスト全国大会（化学分析部門）が東大阪市の近畿大学理工学部で行われました。分析技術の日本一を目指し、全国各地の予選を勝ち抜いた精鋭達が腕を競い合う光景は蒼々たるものでした。その中で、本校の瀧田大樹君が健闘し、見事優勝。文部科学大臣賞に輝きました。
本コンテストでの大阪からの優勝は初めてです。
『中和滴定法により試料水中の酢酸の含有率を求め、測定結果の報告書を作成する』というテーマで行われ、150分という限られた時間の中で、瀧田君は卓越した実験操作、正確な測定結果、論理的な報告書の作成等が大きく評価されました。
本人の意欲に加え、練習を通じて集中力、創造力を身に



電気系のとりくみ

電気系では平成18年度から電気工事に関する競技大会に参加しています。最初は「高校生ものづくりコンテスト」だけでしたが、「大阪電業協会主催電気工事士技能競技大会」「若年者ものづくり技能競技大会」などにも出場し、電気工事の技能・技術を磨いておられます。
「高校生ものづくりコンテスト」は全国工業高等学校長協会が主催する大会で、大阪大会、近畿大会、全国大会があります。因みに昨年度は大阪で全国大会が開催されました。今年で9回目の開催です。「大阪電業協会主催

電気工事士技能競技大会」はその名の通りですが、大人の方達と一緒に競技します。毎年10月に大阪府立体育館で開催されます。今年で37回目の開催です（高校生の部は8回目）。「若年者ものづくり技能競技大会」は職業能力開発協会が主催する大会で近畿大会、全国大会があります。この大会は20歳以下の方に参加する資格があります。今年で4回目の開催です。
これまでの戦績と、今年度神奈川県で開催される全国大会に出場する生徒の作文を掲載しますので是非一読下さい。



全国大会に出場する 3年電気系 今滝祐樹君の作文

でも賞状を貰って優勝したという実感を持ちました。賞状と盾を貰ったときは本当に嬉しかったです。自分には強運もあったと思います。
近畿大会の目標としては大阪大会では2位だったのですが、大阪大会1位の選手を超えることと強豪である兵庫県の選手に勝つということだったのでもこれを達成できたことも嬉しかったです。
これらの目標が達成できたのは、教えて下さった先生や過去に大会に出場した先輩方、練習のために線切りやバラシなど陰で支えてくれた友達、そして応援してくれた担任の先生のおかげです。本当にありがとうございました。

ことと全国優勝です。全国大会までの練習期間は約3ヶ月。今までが一番長い期間ですが、気を緩めずに毎日コツコツと練習を積み重ねて、次は大阪代表ではなく近畿大会の代表として近畿大会に出場した選手の人達の気持ちを胸に全国優勝を掴み取りたいです。



作品は200点満点で採点されます。練習では標準時間の1分くらいしか超過しなかったのに、僕は緊張してしまいい2分半の時間超過減点と審査員から注意を受けて、課題の採点に入る前の段階で減点12点を貰ってしまいました。優勝はほとんど諦めていました。僕としては時間超過以外は納得のいく作品ができたし、楽しくできたので点数のことは全然気にありませんでした。
表彰式の時に一番最初に自分の名前が呼ばれたときは鳥肌が立って、まさか自分が優勝したとは思っていませんでした。

全国大会は11月14日、15日に神奈川県で開催されます。全国大会の課題は近畿大会の課題に少し課題を加えたものなので、近畿大会で減点された所を重点的に練習して克服できるようにしていきたいです。次の目標はものづくりを始めたときからの目標なのですが、去年の先輩は全国大会3位だったのでそれを超える

年度	高校生 ものづくりコンテスト	大阪電業協会 電気工事技能競技大会	若年者 ものづくり競技大会
	平成18年度	大阪大会1位、2位、4位 近畿大会参加	
平成19年度	大阪大会2位 近畿大会2位		
平成20年度	大阪大会2位、3位、7位 近畿大会2位 全国大会3位	高校生の部 第2位	
平成21年度	大阪大会2位、3位、12位 近畿大会1位 全国大会 H21.11.15開催	高校生の部 H21.10.22開催	近畿大会地区予選出場

卒業生・旧職員からのたより

還暦を迎えて

三期 工業化学科卒 秋山 信治

私は一九四九年生まれで、二〇〇七年問題で話題になった「団塊の世代」の一人です。今年の十月に還暦を迎える。赤いちゃんちゃんこに頭巾姿など先輩の還暦祝いのイメージが少なく全く他人事です。二歳の孫から「じいじ」と呼ばれるのは抵抗ないが、六十歳は実感がなく、気持ちはバリバリの現役五十歳です。

一九六五年に創立間もない旧茨木工業高校の三期生として工業化学科に入学した。三

茨木工業での思い出

四十二期 電子工業科卒 湯山 正樹

茨木工業での学生生活を思い出すと、様々な思い出が甦ってきますが、中でも特に印象に残っている事が二つあります。それは、茨木工業で学んでいた時の事と友人の思い出です。

茨木工業の勉学は、とても充実していたと思います。特に印象的だったのが、実験・実習です。教科書や雑学では学べない、知識やノウハウを学んだ時の感動を今でも覚えています。基礎である専門の科目でも、一から丁寧に教わり理解を深めることができました。私は、勉学についてい

らの年金満額支給等を考える」と迷う余裕はない。

今年も九月の第一日曜日に三期C1組の同窓会が催される。関西空港が開港した年からは毎年の恒例行事である。今回は同期の仲間の多くが還暦と同時に定年を迎える節目の年である。そこで赤ちゃんかえりならぬ四十数年前にタイムスリップし、宇野先生はじめ百崎先生他の恩師とともに酒を酌み交わし、お互い健康に感謝しながら新たな人生の糧となる語らいの場になればと楽しみにしている。

これを契機に「感謝」「感動」「行動」の3Kを念頭に残りの人生を過ごしたい。



回顧

旧職員 関本 敬次

明治政府は、殖産興業政策で明治三十九年に大阪府立職工学校を設立。「物造りの精神」の目標は、工業高校・工科高校になっても守られています。

茨木工業高校は、戦後の復興期も過ぎ、昭和三十五年頃東京オリンピック計画に合わせ新幹線、東名・名神高速道路完成が間近な頃、名神が高槻山麓の工事で出した土の一

近況報告

工科一期 機械系卒 渡邊 正一

僕は日立建機ティエラという会社に入社し、去年1年間、茨城県にある研修施設で研修を受けてきました。

研修は会社の中や工場の中で先輩方の仕事を見て勉強するわけではなく、訓練校という専用の場所で学校の様に勉強し、さらに能力を検討され、工場に戻った時の配属部署を決められるというものでした。

部署は機械、製罐、組立の三つがあり、僕は溶接の仕事がしたいと思い、製罐の希望を出していたのですが、なんと機械に入ってくれとの通知を言い渡されてしまいました。

初めはショックでしたが、よくよく考えても仕方が無いということ、機械で上を目指して

つロケットのように技術力をつけよう」と考え、これが校章の由来となっています。

特に私が印象に残っているのは文化祭で、各科実習室の公開・製図作品の展示をし、機械工学科は旋盤実習・電子工学科は展開TV・工業化学科は模擬化学工場で合成洗剤実習、無人熱気球上げを行うなど工業高校ならではの内容であったことです。工業高校は工科高校と変わり、幅広く工業力を学び、更なる飛躍・発展を強く願っています。

(昭和三十六年・平成元年在籍旧職員・工業化学科)

しかしそれのおかげでさらに熱心に勉強し、見事、機械一位を取ることが出来ました。

こんな一年間を過ごし、ようやく滋賀に帰ると、夏とは比べものにならないくらい仕事が無い工場がそこにはありました。

去年「ここで頑張ろう！」と思った機械部門は人員削減により、一時組立の方にいつてくれといわれました。やはり初めはショックでしたが、めげずに今でも頑張っています。

不況の影響がどこまで続くか解らなく、とても不安ですが、めげずに上を目指して行こうと僕は考えています。



茨木工業最後の卒業生

茨木工科最初の卒業生

私の近況と致しましては、滋賀職業能力開発短期大学の電子技術科を卒業し、就職を致しました。現在は勉強期間中ではありますが、充実した日々を送っております。茨木工業で学んだ事は、短大に在学していた時、そして今でも役立つっております。

スキャネット株式会社

代表取締役 小池隆彦

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 東京商工会議所ビル7F
TEL 03-5220-3933 <http://www.netsystems.co.jp>

スキャナで読めるマークシート

スキャネットシート

<http://scanet.jp/>

富士火災

自己負担（3割）、入院諸費用、高度先進医療費用および最新医薬品投与費用を補償する医療保険特約 新発売。
あなたの「生きていくための保険」です。

お問い合わせは 諏訪保険事務所 06(6849)7915まで (店主 諏訪年信 200科)

生徒会からの報告

クラブ活動

剣道部

僕たち剣道部は、毎日しっかりと練習をして今年初めて近畿大会に出場しました。これからも、向上心をもって頑張っていきたいと思っています。



コンピュータ部

コンピュータ部は放送部も兼ねて活動しています。放送部は様々な行事で活躍しています。



バスケットボール部

今バスケット部は最後の大会に向けて練習をしています。今は走り込みをしてスタミナをつけるようにしています。



軽音楽部

軽音楽部は、本年度多くの新入部員を迎え、本校で最大の部員数となりました。バンド数は13バンドあり、1バンド45分で、土曜日にも練習しています。高等学校軽音楽部連盟大阪に加盟し、本年度も多くのライブに参加しています。



環境倶楽部

生活環境をよくするためには何をすべきかを学習し、環境化学システム系の分析機器等を利用して環境分析を実験しています。また高校生ものづくり大会や生協祭などにも参加し、外部との交流も行っています。



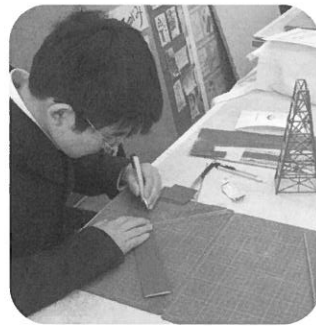
写真部

第33回高等学校芸術文化祭に7月30日から出場します。国際交流事業にも選拔され韓国の高校生と交流し、写真展も行います。釜山、慶州、安東にも撮影に出かけます。



美術部

年に数回の展覧会出品とコンクール出品に向けて作品制作をしています。努力や工夫を重ね、少しずつ受賞も増えてきたことを励みに今後も頑張っていきたいです。



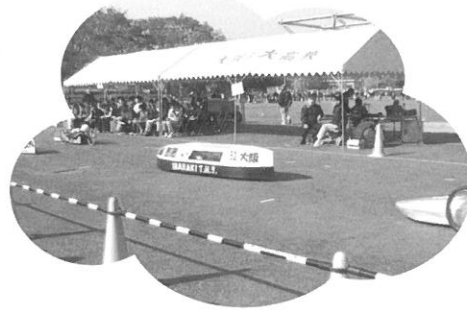
柔道部

柔道部は活動がこの頃滞っていましたが、新しく部員も入って、少しずつですが、活動を始めました。人数は少ないですが、がんばっています。



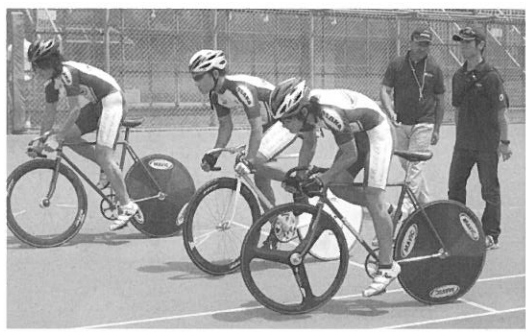
機械研究部

機械研究部は電気自動車(エコデンカー)を作り、今は年に一回の大会に出場しています。大会の前になると車両の整備と点検をしています。



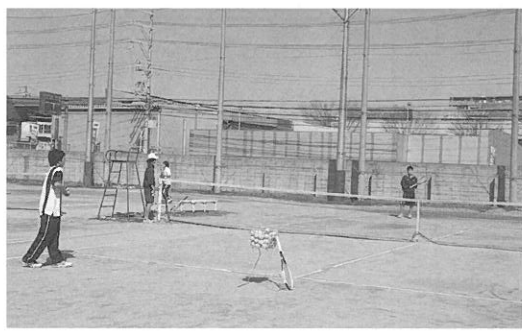
自転車競技部

今年で4年連続、インターハイに出場しました。フレーム等の寄付をお願いしています。OBの皆様、応援よろしくお願います。



水泳部

夏休みの平日には毎日練習しています。先輩達に負けられないように頑張ります。



硬式テニス部

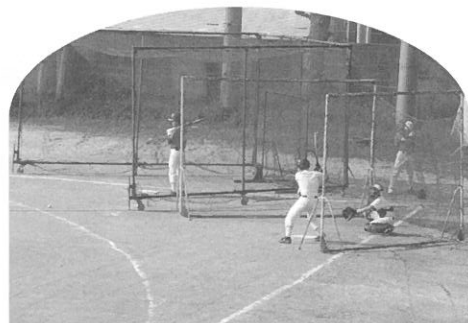
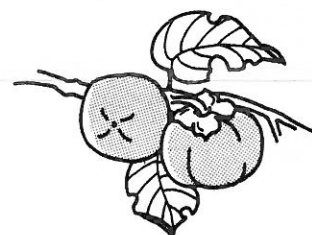
39名と人数が多いですが、とてもチームワークのある良いクラブになっています。OBの方々に精神的、金銭的に支えてもらっています。実業三冠目指し、燃えています。OBの皆様、コートで待っています。

漫画研究部

夏休みは文化祭のイラストを仕上げられるよう頑張りました。一週間一枚というルールを作り、期限までに完成できるように頑張っています。夏休み中、3階の暑い部屋で扇風機を使い暑さとも闘いました。

同窓生のみなさまへ

	夏休み中の活動内容	功績または成績
陸上競技部	実業大会などに向けて、練習していました	実業大会で、男子走り高跳び2位、女子100m2位
水泳部	なみはやドームでの実業大会に向けての練習	男子200mR自由形2位、男子200mメドレーR3位、男子100m自由形3位
硬式テニス部	実業総体、公式戦、合宿に向けて頑張りました	公式戦・1、2年大会シングルス・ダブルス本戦出場、3年生大会シードの私立高校を破りベスト16、実業総体・団体準優勝、シングルス優勝
卓球部	基礎体づくりをしたり、試合をしていました	大阪大会で2、3回戦まで勝ち上がりました
バスケットボール部	夏休み後は新チームになり、がんばっています	実業大会1回戦突破
バドミントン部	大阪高等学校総合体育大会の練習をしました	大阪総体1回戦勝利、実業総体女子ダブルス準優勝
山岳部	8/1から8/5に夏山合宿で北アルプス縦走	大阪大会4位、近畿大会出場！
剣道部	練習試合と合宿をしました	実業総体、個人初段の部優勝 団体優勝、二段の部優勝三位
サッカー部	練習と試合をしました	18戦10勝で勝率56%
ラグビー部	毎日練習と試合を実施しスキルの向上に努めた	練習試合においては勝率7割近くの成績を残した
自転車競技部	ロード練習、トラック練習、合同練習、合宿	インターハイ出場
硬式野球部	練習試合と対外試合をしました	公立大会北摂つばさ戦1勝
写真部	全国大会に参加、韓国にて国際交流企画に参加	全国大会の交流会にてmyfavorite賞に選出された
美術部	高校展に向けての制作	高校展に出品
コンピュータ部	文化祭に向けてのミーティング	
軽音楽部	バンド別に練習（18日間）76回	文化祭に向けての練習
漫画研究部	文化祭の絵を描く活動をしていました	
調理部	天ぷらや餃子、ピザパイ作りをしました	
環境倶楽部	文化祭に向けての化学実験をしました	ものづくり（化学分析部門）近畿大会出場
機械研究部	エコデンカーの整備をしました	
将棋同好会	文化祭の準備、対局など	



こんにちは！茨木工科硬式野球部主将上川直也です。7月末に新チームになったばかりで、多くの困難がありますが、選手一同一生懸命練習し、日々上達していくので、これからも声援、協力等、お願いします。

硬式野球部



今の卓球部は部員全員、仲良く元気です。夏の実業大会に向けて頑張っています。

卓球部

生徒会執行部

僕たちの今年度活動としては、体育祭・文化祭の行事運営や準備、クラブ活動の援助などを行ってきました。

これからも生徒会は、学校と生徒の架け橋となるよう頑張っていきます。

この新聞の生徒会のページも副会長の中野君を中心にみんなで作りました。

2009年度前期生徒会長 亀田拓也



第47回体育祭 (6月19日)

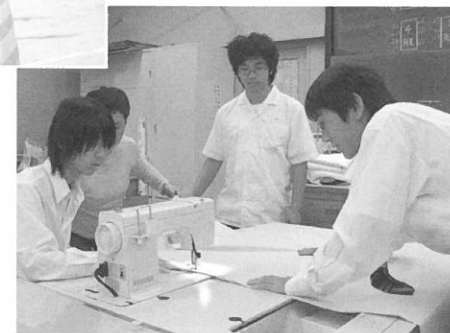


生徒会活動

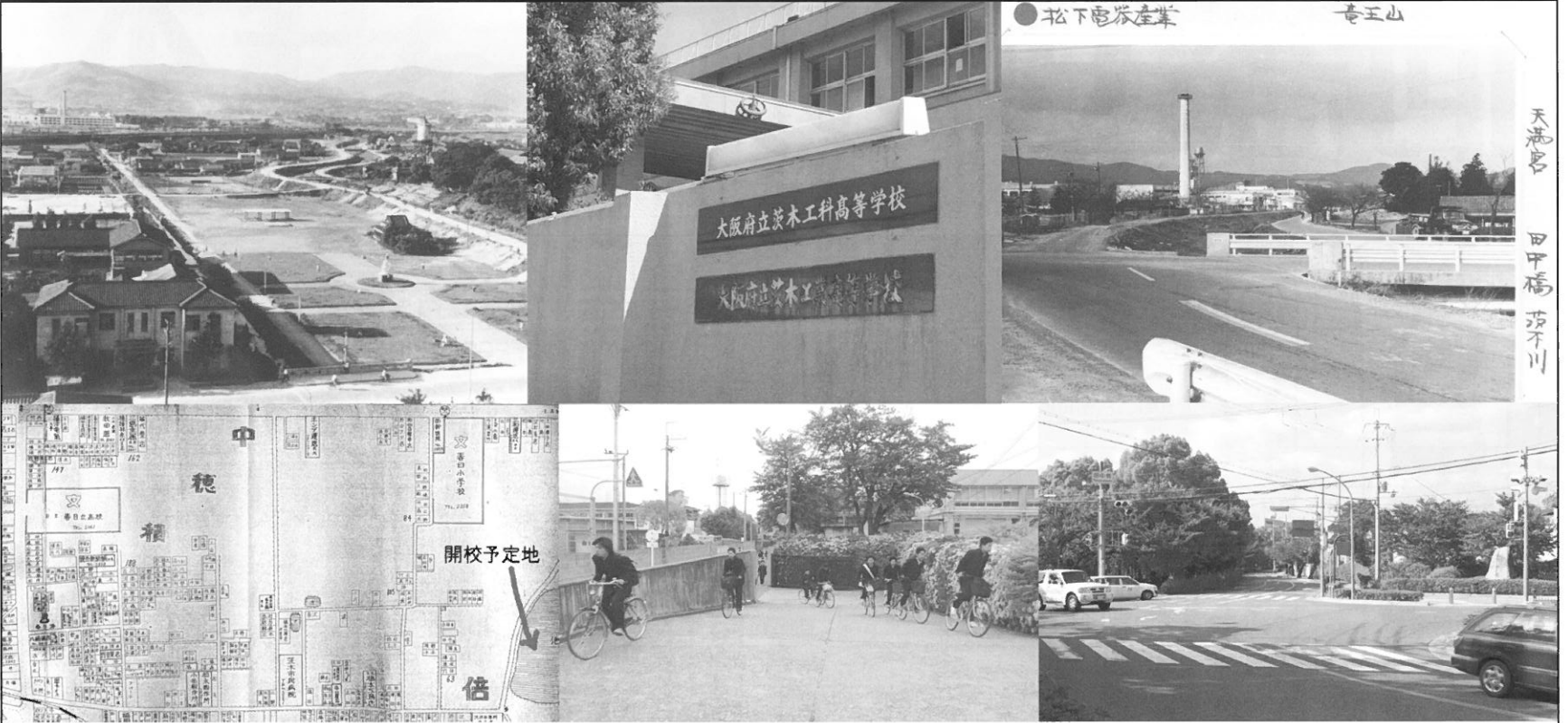


《9月1日のクラブ表彰》
5つの部やものづくりコンテストで20枚の表彰を受けました。

今年の体育祭では入場門を新たに作り直しました。慣れないミシン操作に手こずりましたが、けっこう良いものができました。



写真で見る 茨工の今昔



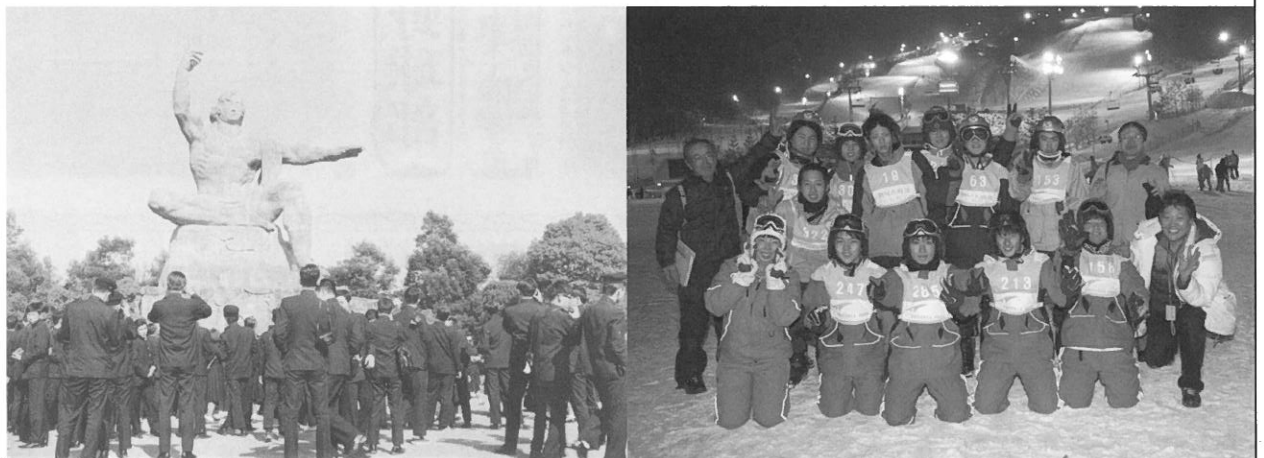
●松下電産産業 巻玉山
天満宮 田中橋 茨木川

●昭和30年代 工業高校開校前の倍賀池 ●前中央公園 今の人口台地地下駐車場に ●桜通りに田中橋がありました ●平成19年工科高校に 職員室も専門科として2F西側に 一般科も旧強電実験室に 来校時は戸惑わないように…。



●修学旅行 行き先・行程も随分と変わりまして…。フェリーで九州方面からバスで信州スキー・飛行機で北海道・沖縄、そして海外へ。

41期生が平成17年1月にタイへ修学旅行に行きました。直前に大津波の発生があり、実施が危ぶまれましたが、開校以来初めての海外修学旅行は生徒に大きなインパクトを与えました。その後、平成20年1月に工科2期生が、韓国へスキー修学旅行を実施しました。ハードスケジュールでしたが、スキー講習とソウル観光を堪能しました。



母校だより

進路指導部より

進路指導主事 河野 吉則

卒業生の皆様方におかれましては、いかがお過ごしのことでしょうか。茨木工科高等学校（全日制）の二期生は、世界同時不況の影響がまだそれほど強くない時期に就職活動をして、学校卒業を希望する全員が就職することが出来ました。進学に関しても、多くの指定校推薦枠を頂き、ほぼ全員が決まりました。これも皆様のおかげと、感謝しています。

進路状況はホームページに掲載してありますが、求人票の所在地が茨木市内で、二期生が就職した企業名をあげておきます。
なお○数字は、内定した人数です。

- (株)神戸製鋼所茨木工場②
- 下田工業茨木②
- 桃栄金属工業③
- パナソニック
- プラスマデイスブレイク
- (株)ジェイエムピー
- 大阪三興(株)
- グンゼ(株)SOZ事業本部
- 大和紙器(株)大阪工場③
- ソントン食品工業(株)
- 大阪事業所③

マルカカイ(株) キャタピラー西日本(株) 求人数が三分の二に減った今年度は、かなり厳しくなると思いますが、まだ自分たちの努力で糸口を見いだす事が出来そうです。一番目は元気です。元気とは声の大きさと云われた方もおられました。二番目は就業意欲です。何をやる会社なのか確に調べもせず受験するようにでは、意欲があるとは思ってもらえないようです。三番目がコミュニケーション能力です。本来ならば社員全員に求められるはずですが、特に若者の会話する能力が低下しているようです。大人が働いている姿を子どもたちが知らないなど、不況以前の課題もまだありますが、後輩たちへのご支援も、引き続きお願いいたします。

機械系の取り組み

機械系では例年、地域との連携を深めるために、課題研究等の授業で製作したものを地域の小中学校に寄贈したり、課題研究の時間に近隣の保育所・幼稚園に出張してもの作りをしています。その取り組みが、新聞の地方欄や茨木市報に取り上げられています。



修理で壊を切断する茨木工科高校の生徒(茨木市立春日保育園)

工科高生 保育所で一肌

茨木さく作りやログハウス修理

6月24日(金)付 産経新聞朝刊より

茨木工科高(森均校長、795人)の生徒が課題研究の時間に朝礼台を作り、茨木市立穂積小学校と山手台小学校に贈った。生徒は「一生懸命作りました。大事に使ってください」とあいさつし、児童は「いいものをありがとう」と感謝の言葉を贈った。生産技術専科と機械技術専科の生徒13人が製作した。茨木工科高では、平成12年から、府の補助金を活用

朝礼台穂積小などに寄贈

茨木工科高の生徒が作る



贈られたアルミ製朝礼台を持ち上げる児童(茨木市立穂積小)

3月19日(木)付 産経新聞朝刊より

H19年度～H20年度 転退職された先生

平成19年度

教科	氏名	勤務先
教頭	藤本 裕正	芥川高校
事務部長	尾上 敏生	退
国語	渡辺 創	大教大付属平野高
社会	内田 孝文	西野田工科高
体育	佐々木哉司	大教大付属池田高
英語	中西 雅治	豊中
養護	下戸 香里	大教大付属平野高
機械	邑上 徹志	布施工科高
機械	江口 誠	箕面養護学校
機械	能登 茂雄	堺市立工業高
機械	中田 早苗	西野田工科高
機械	山家 真	佐野工科高
電気	高橋 涼介	淀川工科高
環境	大前 友哲	和泉総合高

平成20年度

教科	氏名	勤務先
校長	森 均	たまがわ高等支援学校長
教頭	森岡 修治	佐野工科高(定)教頭
事務	岸 良弘	柴島高
事務	椋 里美	退
国語	田畑 稔	東淀川高
国語	中村 史男	港高
数学	城間 勤	退
理科	辻井 安喜	茨木工科高教頭
体育	永川 博志	退
体育	浅井 憲司	桜塚高
英語	田代 武資	阪南高
機械	樋口 伸之	西野田工科高
電気	上田 正幸	淀川工科高
電気	佐々木大輔	門真西高
図書	小松 聡子	退

平成20年度 茨陵会決算書

収入の部

項目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越金	1,765,079	1,765,079	0	
会費	1,527,500	1,514,500	13,000	6,500×233名
雑収入	7,421	12,055	▲4,634	寄付金・利子他
新聞寄付金	0	0	0	
合計	3,300,000	3,291,634	8,366	

支出の部

項目	予算	決算	増減	備考
総会費	10,000	0	10,000	
通信費	100,000	31,140	68,860	文化祭ハガキ代
印刷費	100,000	68,880	31,120	ポスター・文化祭
慶弔費	100,000	38,000	62,000	餞別金・慶弔費
会合費	70,000	23,956	46,044	理事会等
事務費	180,000	7,200	172,800	アルバム代
新入会員歓迎費	250,000	238,000	12,000	認め印鑑
積立金	0	0	0	
管理費	0	0	0	
予備費	2,490,000		2,490,000	
合計	3,300,000	407,176	2,892,824	

次年度繰越金

2,884,458

監査の結果適正に処理されていたことを認めます。

茨陵会会計監査 鈴木 健 仁

平成19年度 茨陵会決算書

収入の部

項目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越金	1,470,523	1,470,523	0	
会費	1,495,000	1,495,000	0	6,500×230名
雑収入	507	29,619	▲29,112	延滞者会費・利子他
新聞寄付金	296,370	296,370	0	
合計	3,262,400	3,291,512	▲29,112	

支出の部

項目	予算	決算	増減	備考
総会費	10,000	0	10,000	
通信費	720,000	561,375	158,625	新聞郵送費
印刷費	550,000	496,650	53,350	新聞印刷費
慶弔費	100,000	68,000	32,000	餞別金・慶弔費
会合費	70,000	37,340	32,660	理事会等
事務費	180,000	124,368	55,632	サーバ維持・カートリッジ
新入会員歓迎費	200,000	186,400	13,600	認め印鑑(単価800円)
積立金	0	0	0	
管理費	0	0	0	
予備費	1,002,400	0	1,002,400	
新聞発行費	100,000	52,300	47,700	アルバイト代
合計	2,932,400	1,526,433	1,405,967	

次年度繰越金

1,765,079

監査の結果適正に処理されていたことを認めます。

茨陵会会計監査 鈴木 健 仁

平成21年度3M4の課題研究の取り組みが、新聞で紹介されました。

平成20年度3M3の課題研究の取り組みが、新聞で紹介されました。



創立50周年を前にして

初代会長 一期 機械工学科卒 木澤 憲一

卒業生の皆さん今日は。もう2年余りで母校の創立50周年を迎えるということですが、とうとうこれは、その時茨陵会も設置から46年余になるのだらうと思います。隔世の感とはまさにこう言う状況を表現する言葉ではないかと思うのです。

私は卒業間ぎわに茨陵会の会長に推されました。当時どういう経緯でどんな場所を決まったのか未だに判然としておりません。気が付いたらそうなっていました。伝統もなければ社会経験もなく、貫禄などなおさらあるはずもない中で同窓会の運営を託され

るとは困惑の極みで、ほとんど途方にくれていたも同然でした。18歳の会長にとつて見本も前例もなく、ともかく破れかぶれのスタートではありましたが。日常的には茨陵会のこと

は意識の片隅に感じ、あるいは薄らいだりしながら、ともすればどたばたと生活に追われ、社会にもまねながらいつの間にか数十年が経過してしまいました。その間、思い出したように時折、会長と言う重苦しい負担感を味わったものです。ともあれようやく2代目の会長候補の方が名のりを上げていただいた折は、本当に



着任挨拶

教頭 辻井 安喜

茨陵会会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成二十年十二月三日付で教頭に着任いたしました辻井安喜(つじいやすき)と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は、平成十年四月に理科の教員として本校に赴任し、今年度、十二年目を迎えました。この間、三十八期生の電子工業科の担任、四十一期生、工科二期生の学年主任を経験させていただきました。現在、教頭を務めさせていただいて

いることに強い縁を感じております。さて、本校は平成十七年四月に工業高校から工科高校へ改編され、今春、五期生を迎えました。工科高校としてハード面はほぼ完成いたしました。課題も見受けられませんが、課題も見受けられず、とりわけ、工科高校へ改編後、中途退学者が増加していることがあげられます。中退防止

対策を検討するために実施しましたアンケートの結果では、四割以上の中退者が本校のことをよく知らずに入学していることがわかりました。このことを踏まえ、中学生及びその保護者、先生に対して「工業科の特色、メリット」に関する情報提供をさらに積極的に行い、本校を「入りたい学校」ではなく「入りたがう学校」として選択してもらえようという機会を通じて広報活動に努めていきたいと考えております。その一環として、今年七月に学校ホームページをリニューアルし、生徒の活躍、学校行事等の情報発信を推し進めております。茨陵会会員の皆様におかれましては是非母校の動向をホームページにアクセスしてご覧いただくとともに、ご意見、ご感想をいただければ幸甚です。

私自身今人生の後半にさしかかり、茨陵会会長でいた頃よりもむしろ強く母校や同窓会の事を気にかける気持のゆとりが出てきた事に何とも皮肉なめぐり合わせだと思わずにおれません。遅まきながら、また微力ながら機会があれば応援や協力は惜しまないでくださいと秘かに思いついておきます。来るべき50周年事業が盛り上がりやすことを祈念いたしております。

ご注意下さい!

茨陵会では、この新聞または手紙によるご寄付の依頼以外は一切いたしておりません。また、他の業者を通すこともありません。(同窓会名を騙る販売業者もあるようです)

編集後記

この度、創立五十周年を3年後に迎えるに先立ち、茨陵会(同窓会)新聞第5号の発行に編集長として関わる事になり、記事は「写真で見える茨工の今昔」を主に担当しました。十年毎に発行されてきた周年記念誌、古い卒業アルバムを見ながら学校周辺の風景、実習機器の変遷、学習環境の変化を写真で表現したいと思いましたが、うまく伝わりませんでしたでしょうか。それにしても、時代の流れに取り残されることなく、社会のニーズにあわせて変化していくのが母校を改めて誇りに思います。

新聞発行の継続について

これまでも新聞を発行する際にお願ひして参りました「新聞発行に掛かる費用のご負担」について、今回もお願いすることになりました。これまでにも大変多くの方よりご寄付をいただきました。前回は新聞発行費用として三十万円を集めることができました。しかし、一回の新聞発行は、一〇〇万円掛かっておりますので、今回もご寄付をお願いいたします。

新聞の編集長は子ども小学校PTA新聞以来ですので、にわか文士にはなれませんが、お楽しみ頂けたでしょうか。最後にになりましたが、茨陵会の運営ならびに新聞発行に際しましては、在校理事の皆様方にご協力をお願いいたします。ここに改めて感謝の意を表します。

文化祭のお知らせ

第47回文化祭を開催いたしますのでご案内させていただきます。

日時：平成21年11月7日(土) 午前10時より

今後の文化祭案内はがきについて

卒業後3年間は文化祭案内はがきを送ります。ただし新聞発行年は新聞にて通知いたします。3年以上前の卒業生の方については基本的にはホームページで確認してください。よろしくお願いいたします。



印刷全般
増原印刷

〒567-0881 茨木市上中条2丁目1-16
TEL:072-627-1417 FAX:072-627-1540 E-mail:goophy@hcn.zaq.ne.jp

カワサキ写真スタジオ

写真技能士 川崎正夫(第7期卒業生)

スクールアルバム 証明写真
記念撮影 ネガ付き就職用証明写真

茨木市春日1丁目13-32 春日商店街・木曜日定休

茨木 (072) 626-6590

七期生 副会長 川崎正夫